

新時代 芽吹く

農林水産大臣賞

藤枝市 向島^{かずと}和詞^{さん}(40)



茶畑を背に商品を手にする向島和詞さん 藤枝市で

自分の体が喜ぶお茶に

高校生の時に父和光^{かずみつ}さんを病気で失い、学校を中退して経営を引き継いだ。自ら有機栽培技術などを学び、さまざまな事業に取り組んで経営を大きく成長させた。

引き継いですぐは、経営を立て直すため睡眠を削って土木や飲食などのバイトを掛け持ちした。「一人の何倍ものスピードで成長したと思

う。20代前半、品質が悪く夏場に刈り落とししていた茶葉を「青番茶」として、加工して扱うように。「無知だからこそ生み出した」と振り返る。

2017年には抹茶の原料となるてん茶加工施設を整備し、有機栽培のてん茶製造を始めた。ECサイトでの販路

の開拓や新商品開発、地域の茶園継承などにも力を入れてきた。

大事にしてきたのは「自分の人生を生かすこと」。当初は、父の顧客のために加工法や品質など先代に近づこうとしたが、父と自分は違うと気付いた。「自分が楽しいと思

う先にできた製品で良い」。考えを変えてからは、経営も軌道に乗るようになった。

お茶は加工して商品となるため、「作り手の考え方を反映する備のある作物」と捉える。自らにとっては父との強いつながりを感じるものもある。「自分の体が喜んでい

るな」という、飲み応えのあるお茶を作り続けたい」と語った。